

輸入禁止品輸入許可申請書

下記のとおり〇〇を輸入したいので許可願いたく〇〇植物防疫所を經由して申請いたします。

下表の普通名称と同じ。

申請者の住所地を管轄する植物防疫所（本所）を記入してください。

住所 神奈川県横浜市A区北仲通〇-〇
職業 国立大学法人〇〇大学〇学部教授
氏名 植防 太郎

申請者の名義は次によります。

1. 大学では学長、学部長、教授（名誉教授を含む。）又は准教授
2. 国公立の研究機関では当該研究機関の長
3. 博物館等では館長（園長を含む。）
4. 民間の会社ではその会社の代表者（社長）又はその会社に所属する研究担当部門の代表者
5. その他の研究機関では当該研究機関の長
6. 警察署等では当該機関の長
7. 防除機関では当該機関の長

令和〇〇年〇〇月〇〇日

農林水産大臣 〇〇 〇〇 殿

※ 普通名称及び学名

土壤

Soil

輸入禁止品の和名（英名）及び学名を記載してください。
検疫有害動植物が植物等に寄生している状態で輸入される場合は、その寄主名を括弧に入れ併記するなどしてください。

- 例 1. あずきに寄生したヨツモンマメゾウムシ
Small red bean with *Callsobruchus maculatus* Fabricius
- 例 2. ヤノネカイガラムシ及びその寄生蜂
Unaspis yanonensis and parasitic wasps
- 例 3. いねに寄生したイネいもち病菌
Oryza sativa L. (又は Rice) with *Pyricularia oryzae* Cavara
- 例 4. 微生物の付着した植物標本
Plant specimens with micro-organisms

※ 数量及び梱数

○ 梱 □ kg（容器包装を含む。）

○ package of total weight □ kg

国別、輸入禁止品別に数量及び梱数を次により記載しますが、数量は試験等に必要の最少限としてください。また、欧文を併記してください。

なお、重量については原則として正味重量としますが、正味重量を計量することが困難な場合は「(容器包装を含む。)」と明記の上、外装を含む総重量を記載してください。

- ・ 生果実及びくるみの核子は、種類ごとの重量及び梱数。
- ・ 生植物及びその部分、いも類の生塊茎又は生塊根は、植物の種類ごと(品種が判明している場合は品種ごと。)の個数及び梱数。
- ・ むぎわら及びかもしぐさ属植物の茎葉、いね及びいねわら、もみ及びもみがらは、植物の種類ごと(品種が判明している場合は品種ごと。)の重量及び梱数。

次頁へ続く

	<p>前頁の続き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他の植物(寄生植物を含む。)は、植物の種ごと(品種が判明している場合は品種ごと。)の個数又は重量及び梱数。 ・昆虫、ダニ、線虫等の検疫有害動物は、種ごとに頭数及び重量並びに梱数。(植物等に寄生している状態のものは、その寄主植物ごとの頭数又は重量及び梱数。) ・真菌、粘菌、細菌、ウイルス等の検疫有害植物は、種ごとに試験管等の容器数及び梱数。(検疫有害植物が植物に寄生している状態のものは、その寄主植物ごとの個数又は重量及び梱数。) ・土の付着する生植物は、種類ごと(種が判明している場合は種ごと。)に個数又は重量及び梱数。 ・土又は土の付着するせんたい類、化石等は種類ごと(種が判明している場合は種ごと。)に重量及び梱数。
<p>※採取地又は産地</p>	<p>□□市・○○国 □□SHI, ○○KOKU</p> <p>輸入禁止品が採取された国名又は地域名を記載してください。また、欧文を併記してください。 なお、海外の微生物株保存機関等から菌株等を輸入する際は、当該機関等の所在する国名又は地域名を記載し、括弧書きで採取地を併記してください。</p>
<p>輸送の方法及び経路 (郵便物の場合は発送地)</p>	<p>航空便扱い小包郵便物 (or 通常郵便物 (小型包装物)) で ○○国・□□市より輸入する。 □□空港→ △△空港</p> <p>航空小包郵便物、航空通常郵便物 (小型包装物)、船積小包郵便物、航空貨物、船積貨物、携行等の輸送方法を記載してください。 なお、携行する場合は、携行者の職名及び氏名を記載してください。</p>
<p>輸入の際経由する植物防疫所名</p>	<p>○○植物防疫所 △△支所</p> <p>輸入される輸入禁止品を受け取る (輸入を認可する) 植物防疫所名 (気付植物防疫所名) を記載してください。 輸送の方法により経由する植物防疫所が決まりますが、郵便物の場合は、「国際郵便物の通関手続きを行う郵便事業株式会社の事業所を担当する植物防疫所」に限定されます。 詳しくは植物防疫所に照会してください。</p>
<p>輸入の目的</p>	<p>土壌中に含まれる○○を分析し、○○を解明することを目的とする。</p> <p>試験研究の目的をできるだけ詳細に記載してください。</p>
<p>※発送人の住所・職業・氏名</p>	<p>検疫 花子 Dr. Hanako Keneki ○○○○○○○○University △△ - △△, △△, □□市, ○○国.</p> <p>海外出張先等から発送される場合は、研究所、事業所又は宿泊所 (ホテル等) の住所を記載してください。また、欧文を併記してください。</p>

<p>※荷受人の住所・職業・氏名</p>	<p>〒231-XXXX 神奈川県横浜市A区北仲通〇-〇〇 国立大学法人〇〇大学〇学部教授 植防 太郎 Dr. Taro Shokubo, 〇〇University, 〇-〇〇 kitanaka-dori, A-ku, Yokohama 231-XXXX Japan</p>
<p>申請者と同一名義としてください。また、欧文を併記してください。 なお、住所には郵便番号も記載してください。</p>	
<p>輸入の予定年月日</p>	<p>令和〇〇年〇〇月〇〇日</p>
<p>許可指令書の入手に要する日数（約1か月）、輸入許可証票の荷送人への送付、輸入禁止品の発送準備及び輸送に要する日数等を考慮の上、記載してください。 なお、輸入の予定年月日は、申請の日から原則6か月以内（やむをえない理由があるときは1年以内）としてください。</p>	
<p>輸送中の包装状態</p>	<p>ビニールで二重包装し、プラスチックケースに入れ、密閉し輸送する。</p>
<p>輸送中に輸入禁止品を散逸させないため、容器の種類及び包装の方法を記載してください。</p>	
<p>輸入後の管理方法及び場所</p>	<p>管理施設：神奈川県横浜市A区北仲通〇-〇〇国立大学法人〇〇大学〇学部〇〇棟〇階実験室(B号室)及び〇〇室並びに〇〇棟〇階〇〇室。 管理方法：〇〇は〇〇室の保管庫にて施錠して保管する。△△試験は〇〇棟〇階分析室(C号室)の△△機を用いて分析を行う。試験中不要となった当該土壌及び使用した器具類は同実験室のオートクレーブで、120℃、20分以上の殺菌を行う。</p>
<p>輸入許可条件に関する重要な事項です。輸入禁止品の保管、試験の内容、消毒及び廃棄別に、方法及び場所（研究室名等）を具体的、かつ詳細に記載してください。 管理施設については、「〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 〇〇研究所〇〇棟〇階〇〇研究室及び〇〇室」のように記載し、管理方法については、次のように具体的に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇菌の保管は、〇〇室内の冷凍庫で行う。」 ・「〇〇虫の飼育は二重扉で外部と完全に遮断された〇〇室に設置された飼育箱内で行う。」 ・「〇〇菌の分離は〇〇研究室の無菌室で行い、培養は〇〇室内の恒温器で行う。〇〇室で形態比較、生理的性質等の検討を次の方法により行う。」 ・「〇〇菌の生植物への接種試験、〇〇線虫が寄生した〇〇の栽培は、外部への散逸を完全に防止できる〇〇室のバイオトロン内でポットを使用し、他の植物と隔離して行う。ポットから流出した灌水是収集装置により収集しオートクレーブで120℃ 20分間以上の殺菌、殺虫処理を行う。」 ・「〇〇の展示は〇〇展示室内に設置した展示容器内で行う。」 ・「試験中不要となった菌、使用した器具類は、その都度〇〇室のオートクレーブで120℃ 20分間以上の殺菌処理を行う。」 	

<p>利用期間及び 利用後における処理方法</p>	<p>令和〇〇年〇〇月〇〇日まで、使用予定。利用後は実験室（B号室）オートクレーブで、120℃、20 分間以上の殺菌を行う。</p> <div data-bbox="400 333 1426 710" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>利用期間は、目的とする試験等が終了するまでの期間で、申請の日から 6 年間以内としてください。 なお、試験等の性格上、長期間にわたる場合はその旨を記載してください。</p> <p>利用後における処理方法は、輸入禁止品及び試験等に使用した器具類の消毒方法（高圧殺菌等）又は処分方法（焼却等）を記載してください。 なお、植物、土等から分離した微生物であって、有用植物に対して寄生性のないことの確認を受けたものを微生物保存機関等へ寄託したい場合、試験等終了後研究用として保存したい場合及び輸入禁止品から得られた天敵を利用したい場合等は、その旨を記載してください。</p> </div>
<p>輸入後の管理責任者氏名</p>	<p>国立大学法人〇〇大学〇学部教授 植防 太郎 連絡先 TEL : 045-123-XXXX FAX:045-123-XXXX</p> <div data-bbox="400 902 1426 992" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>輸入禁止品の保管及び試験を担当する責任者の機関名、職名、氏名、電話番号、ファックス番号、E-mail アドレス等を記載してください。</p> </div>
<p>その他参考となるべき事項</p>	<p>・ 当該管理施設は農林水産省指令〇〇植第〇〇号で許可された管理施設と同一である。</p> <p>管理責任者が不在時の連絡者 檢疫 花子 TEL : 045-123-XXXX FAX:045-123-XXXX</p> <p>・ 気付植物防疫所から管理施設までは、宅配便（着払い）での送付を希望する。</p> <div data-bbox="400 1373 1426 1906" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>以下のような参考となる事項を記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸入時に気付植物防疫所において土等の消毒を希望する場合は「輸入後直ちに〇〇植物防疫所〇〇支所において、植物防疫官立会いの下に高圧殺菌又はくん蒸を行う。」等 ・ 今までに輸入許可を得て使用したことのある管理施設を使用する場合はその許可番号。 ・ 管理責任者が不在時の連絡者及び連絡先（電話番号、ファックス番号等）。 ・ （郵便の場合）気付植物防疫所から管理施設まで輸入禁止品の送付を希望する場合（着払いになります。）は、その送付（輸送）方法。 ・ 研究機関の過去の研究事例及びその資料。 ・ 輸入禁止品が特殊なものはその特殊性。 ・ 輸入代行者を通して海外の菌株保存機関から菌株を輸入する場合は、輸入代行者名。 ・ 日本出発日：令和〇年〇月〇日（輸送方法が携行の場合。） </div>

備考 ※印の欄には、欧文を併記すること。